
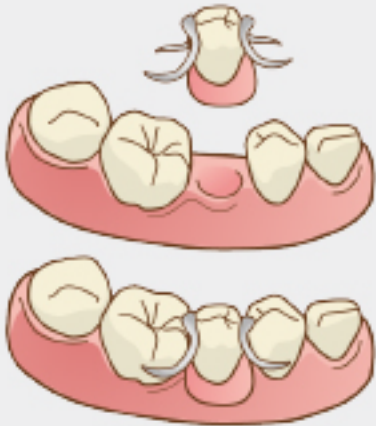
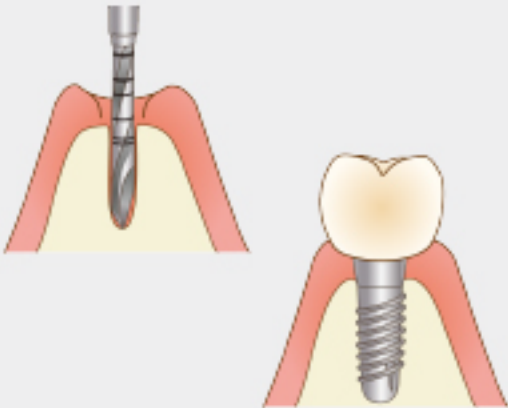


治療方法	ブリッジ	(部分) 入れ歯	インプラント
概要	欠損した歯の両隣の歯を削り、そこに橋を架けるように義歯を作る方法です。基本的には3本が1セットです	欠損した歯の型を取り、それに合わせた人工の歯と床を作り、バネで残っている歯に引っ掛けて固定します	専用のドリルで歯を支えている顎の骨に穴をあけ、そこに人工歯根を埋め込み、その上にセラミックでできた人工の歯を被せます
イメージ			
メリット	固定式のため、装着後も違和感が少ないです 素材を人工歯に近いものにする、より天然の歯に近い、審美的な修復が出来ます	ブリッジで対応できないような大きな欠損の場合でも対応できます バネで固定しますが、歯を削る、顎を削るなどの手術が不要です	顎の骨に埋め込み固定するので、違和感をあまり感じず噛むことが出来ます 噛む力を改善する事が出来るので、硬いものでも噛むことが出来ます 健康な歯を削る、バネで固定することもなく、審美性にも優れています 良く噛むことにより、周囲の健康な歯にまた、全体的にもよい影響を与えます
デメリット	両隣の健康な歯を、ブリッジを支え固定するためにも削ってしまわなければならない 支える歯に負担が大きくなるため、将来その支えている歯を失ってしまう可能性がある ブリッジの下部と歯肉の間に食べ物がつまってしまうと不衛生になりやすい 発音が困難	バネにより、歯への負担が大きくなってしまふので、噛む力が健康な状態より衰える可能性がある 他の治療法に比べ、ガタつきやすいので、手入れをする必要があります 違和感がある 食べ物が挟まり、不衛生になりやすい	インプラントを顎の骨に埋め込むため、手術が必要 全身の疾患がある場合など、治療が出来ない方もいます インプラントを維持するために、徹底した定期的な検診と口腔内の清潔な環境管理が必要です
治療費用	保険適用材料を使用する場合は比較的安価です 保険適用外の素材は自由診療となり高額となる場合もあります	保険適用材料を使用する場合はその保険点数内です。 保険適用外の素材は自由診療となり高額となる場合もあります	保険適用外になるので自由診療となり、少々高額になります。 埋め入れ本数や手術の難易度等により費用が変動します